

会議録（5月）

平成28年5月18日
教育委員会会議室

1. 出席委員 教育長 島寄 善真理 教育長職務代理者 菊池 清隆
委員 松本 学 委員 興梠 瞳 委員 石井 勇
2. 事務局 教育次長 武内 秀元 指導主事 渡木 秀明
3. 書記 教育次長 武内 秀元
4. 報告
 - (1) 鞍岡中学校跡地利用に関する役場庁舎内での検討組織について
5. 協議
 - (1) 観察研修について
6. その他
 - (1) 第33回五ヶ瀬町体力つくりバレーボール大会の開催について
 - (2) 第9回創作クラフト展の結果について
 - (3) 北里かおりと泣いた赤鬼展の中止について

連絡事項

- (1) 教育委員会行事予定（5・6月）について

会議録 午後5時09分開会

教育長 あいさつ

議事録署名委員：石井 勇 委員

Q…Question (質問), A…Answer (回答)
O…Opinion (意見)
E…Explanation (説明)

【4. 報告】

1 鞍岡中学校跡地利用に関する役場庁舎内での検討組織について

- ① 資料に基づき、教育長、教育次長が説明する。

・（教育長）昨年12月に実施した跡地利用に関する住民アンケートの結果は、福祉施設が一番多く、2番目が白紙、3番目が多目的施設、次いで公民館、小学校移転であった。複合施設として考えられる、合宿等宿泊施設、体験交流施設、加工場、企業等を含めると多目的施設の割合が44%程度であった。昨年度、最後

の跡地利用部会で住民の多くは多目的施設を望んでいるので多目的施設で良いかを尋ねた結果、概ね了解が得られた。

- ・(教育次長) 行政区ごとの集計結果もまとめている。どこにも出してはいないが。

(質疑)

- 1 先ほど（総合教育会議で）尋ねた、社会教育施設でやっていくのか、地域づくり施設でやっていくのかで、町長部局なのか、教育委員会部局なのかを聞いたつもりだった。たぶん、地域づくりとして町長部局でやっていくことになると思うが、地域を回ってみると、これは地域の意識を変えられるチャンスである。地域では色々考えており、そのチャンスを活かさない手はないから、今回やり方の提案された時も、そのやり方をもう一度考えてやっていた方が良いのではないか。色んな人が関わるような方法も考えると、一度関わった人は必ずここで関わってくれるので、大変な仕事になるとは思うが、チャンスなので、鞍岡が変われば他のところにも波及してくる。それを鞍岡の人々に知ってほしい。本当は、相当危機的な状況である。みんなで考えて、自分達のものとして残して活用するところまで持つていけたらと思う。
- 2 具体的にこれからこうなっていきますよ、だからここでこういうふうにした方が良いですよという具体的な説明が必要であると思う。これだけやれば人口が増えていきますよ、生産人口が増えていくのに、厳しい意見を言っていてもどうしても成り立っていないから、だからこそ生き残るために意識を持ちませんかと。今の現状は取り敢えず生活が出来ているので危機感がないと思う。
- 3 大字毎に言うのが正しいか分らないが、（地区を）回ってみて、20年後、30年後のそこの地域を見てくださいという話しをする。だいたい、実際に活動できる家庭が3分の1くらい残るようである。その中で鞍岡が一番厳しい。その危機感がどうしても必要だし、もしかしたら、ここの社会教育で変わっていくかもしれない。社会教育と、今回の地域づくり、合わせてやっていく。鞍岡が変われば、町が変わるような気がする。大変な時期になっているし、仕事が増えているけれども、将来にわたってやっていく時に何が一番大変かと言ったら地域興し、鞍岡を振興させたり、五ヶ瀬町を振興させるというのが一番の目的だと思う。
- 4 そういう意識を持った町民がいる時にやらないと、もしこういう人が居なくなったら時にバタバタとそういう状況になると思うし、ある程度の方は感じているとは思うが、本当に自分の町の状況を受け止めているか気になる。だけど、発言する場所がなかなか無い。今後は、アンケートで挙げられた内容を詳細に検討するということで、その意見を聞くことが必要ではないか。

○ 5 明日、第1回の跡地利用庁舎内会議を開くので、このアンケートを見せるのと、杉田氏の案、中学校の見取り図を提示する。やっぱり鞍岡の若手に聞く機会が無かったので、これから鞍岡を支える若手の意見が欲しい。

【5 協議】

1 視察研修について

- ① 資料に基づき、教育次長が説明する。
- ・ 昨年、一昨年と視察研修を行っていない。
 - ・ 当初の予定では、社会教育施設や社会体育施設の視察を検討していたが、鞍岡中学校跡地利用の検討も継続しているので、廃校活用について研修したい。
 - ・ 視察先の2箇所について案を考えている。どちらも大分県国東市で、一つ目は、株式会社アキ工作社で国東市の旧西武蔵小学校を活用し、段ボール製組立て式のクラフト、ロボット等の商品を開発している。二つ目は、株式会社国東ファームで、旧来浦（くのうら）中学校を活用し、大分県産乾しいたけを主原料とした調味料を開発し、販売を行っている。
 - ・ 本町から国東市まで4時間程度かかると思われる。
 - ・ 1泊で、宿泊先を別府市または由布市湯布院町を考えている。
 - ・ 研修時期を7月頃で考えたい。冬期になると西臼杵郡教育委員会連合会の合同研修会が予定されているので、早めに計画したい。

(質疑)

Q 1 アキ工作社には、従業員は何人くらいいるのか。

A 1 ホームページには載っていないので、問い合わせてみないと分からないが、少ないのではないかと思う。

Q 2 どちらか一つに行くのか。

A 2 2社の距離は遠くないので、両方とも行きたいと考えている。

E 1 国東ファームは、今年、大分県内で一番椎茸の生産が良かつたらしく、120%程度の出来であったと聞いている。

Q 3 学校全部を使っている訳ではないのか。

A 3 アキ工作社は、空き教室を介護予防教室として使っているようである。

(決定事項)

- ・ 7月で調整する。教育長等のスケジュールを優先し、連絡する。
- ・ 視察先は、提案通りの2箇所とする。
- ・ 宿泊先は、別府市または由布市湯布院町とする。

【6 その他】

1 第33回五ヶ瀬町体力つくりバレーボール大会の開催について

① 資料に基づき、教育次長が説明する。

- ・6月20日、21日で予選大会を行う。準々決勝を6月23日、準決勝・決勝を6月24日とする。
- ・参加申し込みは、5月27日までとする。
- ・上組小学校の体育館が地震の影響で使用出来ないので、桑野内地区の練習については、五ヶ瀬ドームを取っている。
- ・大会競技規則のアンダーラインが変更になっている部分を説明する。

(質疑)

なし

2 第9回創作クラフト展の結果について

① 教育次長が説明する。

- ・4月21日から予定していたクラフト展は、熊本地震の影響により1週間先延ばしし、4月28日から18日間で開催した。入場者数は、391名で1日平均21.7名であった。

(質疑)

なし

3 北里かおりと泣いた赤鬼展の中止について

① 教育次長が説明する。

- ・5月から開催を予定していた企画展は、南阿蘇村長陽在住の北里氏が熊本地震で被災されたため、開催が厳しくなり止む無く中止とした。

(質疑)

なし

連絡事項

1 委員会の5・6月行事予定

※ 一覧表により次長が説明する。

次回の定例教育委員会日程

6月16日（木）午後5時00分 教育委員会において開催する。

午後6時30分から歓迎会を開催する。

閉会時刻 午後 6 時 01 分

教 育 長

会議録署名委員

会議録調整者